

# 第11課 無關與不顧：を問わず・にかかわりなく／にかかわらず・もかまわず・はともかく（として）・はさておき

第11課對應《新完全マスター N2》第1部「II 主観を含めて説明する（帶主観説明）」的第11課，主題是「與某條件無關」與「不顧某情況」。前三個形都是「不論／不顧某事，結果照樣」：～を問わず（不論...都一樣）、～にかかわりなく／～にかかわらず（與...無關都一樣）、～もかまわず（不在意而做出格的事）。後兩個形則是「先把某事擱在一邊，去說更重要的」：～はともかく（として）（...暫且不論）、～はさておき（...先擱一邊）。本課重點是把「不論」與「擱置」兩組分清楚。

## ■ 今課目標

- 用～を問わず 表達「不論...的差別，全部一視同仁」，後句多接「都可以、都歡迎」。
- 用～にかかわりなく／～にかかわらず 表達「與...的多少、有無無關，結果都一樣」。
- 用～もかまわず 表達「不顧（一般會在意的）某事，做出格、出乎意料的行為」。
- 用～はともかく（として） 表達「...這一點暫且不論，先說後面更重要的」。
- 用～はさておき 表達「...先擱在一邊，把話題轉到更該優先的事上」。

## 一、～を問わず：不論...（都一樣）

### ■ 不問差別，一視同仁

～を問わず 表示「不把...當成問題、不分...的差別，全部都一樣」。前面多接帶有各種差異的詞（年齡、國籍、性別、天氣等）或一對相反的詞（男女、內外、有無等），後句常接「都可以、都歡迎、都通用」一類內容。語氣較書面。

### ■ 形式規則

名詞 + を問わず。前接帶有各種差異或一對相反的名詞；後句多為「都可以、都適用」。

## ■ 例句

1. このアルバイトは、経験の有無を問わず応募できます。  
→ 這份兼職不論有無經驗都可以應徵。(有無)
2. 当ホテルは、季節を問わず同じ料金でご利用いただけます。  
→ 本酒店不分季節，都以同一價格供住客使用。
3. このイベントは、年齢や国籍を問わず、だれでも参加できます。  
→ 這個活動不論年齡和國籍，任何人都可以參加。
4. 昼夜を問わず、サポートセンターにご連絡いただけます。  
→ 不論白天黑夜，都可以聯絡客服中心。(相反詞)

## 二、～にかかわらず・～にかかわらず：與...無關（都一樣）

### ■ 與某幅度或有無無關

～にかかわらず／～にかかわらず 表示「與...無關、不受...左右，結果都一樣」。前面多接有幅度的詞（距離、金額、大小等）、一對相反的詞（去、不去），或「(疑問詞) ～か」的形。兩者意思相同，可以互換。

### ■ 形式規則

名詞／(疑問詞) ～か + にかかわらず・にかかわらず。前接有幅度、相反或含疑問詞的內容；後句結果不受其影響。

## ■ 例句

1. この定期券は、利用回数にかかわらず料金は一定です。  
→ 這張月票不論使用次數多少，價格都固定不變。(幅度)
2. 参加するかしないかにかかわらず、必ず返事をしてください。  
→ 不論參加與否，都請務必回覆。(相反)
3. 天候にかかわらず、試合は予定どおり行われます。  
→ 不論天氣如何，比賽都會照原定計劃進行。
4. 理由が何であるかにかかわらず、遅刻は遅刻として扱われる。  
→ 不論理由是甚麼，遲到就當作遲到處理。(疑問詞～か)

## 三、～もかまわず：不顧...（不在意而做出格行為）

### ■ 不顧該在意的事，做出格之舉

～もかまわず 表示「不在意（一般人會顧慮的）某件事，照樣行動」，後句多是不合常理、令人意外的行為。前接表示「該被顧慮的狀況」的詞。注意後句不能是說話人自己的希望、意志或對別人的要求。

### ■ 形式規則

名詞／普通形（ナ形容詞＋な／＋である・名詞＋な／＋である）＋の＋もかまわず。後句多為不合常理、出乎意料的行為，不接希望、意志或請求。

### ■ 例句

1. その子は、服がぬれるの**もかまわず**、雨の中を走り回っていた。  
→ 那孩子不顧衣服會濕，在雨中四處跑來跑去。
2. 彼は人目**もかまわず**、駅のホームで大声で泣き出した。  
→ 他不顧旁人眼光，在車站月台上放聲大哭起來。
3. 母は手が汚れるの**もかまわず**、土に手を入れて雑草を抜いた。  
→ 母親不顧弄髒手，把手伸進泥土裡拔雜草。
4. 彼女は周りがか心配しているの**もかまわず**、一人で山に登っていった。  
→ 她不顧周圍的人擔心，一個人上山去了。

## 四、～はともかく（として）：...暫且不論

### ■ 這一點先擱下，重點在後面

～はともかく（として）表示「...這一點暫且不論，先說後面更重要的」。前接說話人覺得「相比之下沒那麼重要」的事，後句說「比它更想強調、更該重視」的內容。也可接「(疑問詞) ～か」的形。

### ■ 形式規則

名詞／(疑問詞) ～か＋はともかく（として）。前接相對次要的事；後句說更想強調的重點。

## ■ 例句

1. この店は、値段はともかく、味は文句なしにおいしい。  
→ 這家店價格暫且不論，味道絕對是沒話說的好吃。
2. 結果はともかく、最後まで全力を尽くしたことが大事だ。  
→ 結果暫且不論，能拼盡全力到最後才是重要的。
3. 合格できるかはともかく、まずは願書だけは出しておこう。  
→ 能否合格暫且不論，總之先把報名表交出去吧。(疑問詞～か)
4. デザインはともかくとして、使いやすさだけは保証します。  
→ 設計暫且不論，至少操作的方便程度我可以保證。

## 五、～はさておき：...先擱在一邊

### ■ 把當前話題擱下，先談優先的事

～はさておき 表示「...先擱在一邊，把話題轉到更該優先、更基本的事上」。前面多接「正在談、本來在意的話題」，後句說「比它優先順位更高」的內容。和～はともかく 很接近，但～はさておき 更帶有「把話題暫時放下、先處理正事」的味道。

### ■ 形式規則

名詞 / (疑問詞) ～か + はさておき。前接當下的話題；後句說優先順位更高、更基本的事。

## ■ 例句

1. 細かい予算はさておき、まずは旅行の日程から決めよう。  
→ 細節的預算先擱在一邊，總之先從旅行的日程開始決定吧。
2. 冗談はさておき、そろそろ本題に入りましょう。  
→ 玩笑先擱在一邊，差不多該進入正題了。
3. どの店にするかはさておき、何人来るのかをまず確認しよう。  
→ 選哪家店先擱在一邊，先確認一下會來多少人吧。(疑問詞～か)
4. 結論はさておき、まずはみんなの意見を一通り聞きたい。  
→ 結論先擱在一邊，我想先把大家的意見都聽一遍。

## 六、常見錯誤與總整理

### 「不論」與「擱置」兩組整理

句型	核心意思	接續／重點
～を問わず	不論...的差別，全部一視同仁	名+を問わず（差異・相反詞）
～にかかわりなく・にかかわらず	與...的多少、有無無關，結果一樣	名・～か+にかかわ...（有幅度・相反）
～もかまわず	不顧該在意的事，做出格行為	名・普通形+の+もかまわず
～はともかく（として）	...暫且不論，重點在後面	名・～か+はともかく
～はさておき	...先擱一邊，先談優先正事	名・～か+はさておき

### ■ 常見錯誤

- **×** 送料は距離を問わず一律500円です。  
○ **送料は距離にかかわらず一律500円です。**  
「金額、距離」等有幅度的量用 **にかかわらず／にかかわりなく**；**を問わず** 接「年齡、國籍」等帶差別或相反的詞。
- **×** 天候を問わず、試合は中止になった。  
○ **天候にかかわらず、試合は行われた。**  
**を問わず・にかかわらず** 都表示「條件不影響結果，照樣進行」，後句一般不接「因此取消」這種被條件左右的結果。
- **×** 人目もかまわず、静かに本を読んでいた。  
○ **人目もかまわず、大声で歌い出した。**  
**もかまわず** 後句要接「出格、不合常理的行為」；「安靜看書」太普通，不成立。
- **×** 彼の経歴はさておき、ぜひ採用してほしい。  
○ **彼の経歴はともかく、能力は申し分ない。**  
「A 暫且不論，B 更重要」這種比較重要性用 **はともかく**；**はさておき** 偏向「把當前話題擱下，先談正事」，且後句不接強烈請求。
- **×** 細かい点はさておき、絶対に成功させたい。  
○ **細かい点はさておき、まず全体の流れを確認しよう。**  
**はさておき** 後句接「優先處理的正事」（多為提議、確認），不接說話人的強烈意志、希望。

自己輸出：用 を問わず・にかかわりなく／にかかわらず・もかまわず・はともかく（として）・はさておき 各寫一句。可寫一個不分對象的招募、一個不受條件影響的規定，或一件「先擱一邊、先談正事」的安排。

---

---

---

---

---